

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 21 年 4 月 30 日 (2009.4.30)

【公開番号】特開 2005-149723 (P2005-149723A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-022
 【出願番号】特願 2005-8206 (P2005-8206)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 7/24 (2006.01)

G 1 1 B 7/007 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/24 5 3 5 G

G 1 1 B 7/24 5 2 2 P

G 1 1 B 7/007

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 3 月 12 日 (2009.3.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

単数の記録層を有する単層情報記録媒体、及び、複数の記録層を有し、かつ前記単層情報記録媒体の記録層と当該複数の記録層のうち光入射側から最も遠い位置にある記録層との光入射側表面からの光学距離が等しい多層情報記録媒体のいずれの情報も再生可能な情報再生装置であって、前記単層情報記録媒体又は前記多層情報記録媒体を装填する装填手段と、前記装填手段により前記多層情報記録媒体が装填された場合、前記光入射側から最も遠い位置にある記録層の光学距離に対して初期フォーカスサーボを実行するフォーカスサーボ手段と、を備えることを特徴とする情報再生装置。

【請求項 2】

前記フォーカスサーボ手段は、前記初期フォーカスサーボの実行後、前記光入射側から最も遠い位置にある記録層より光入射側表面からの光学距離の短い記録層へとフォーカス位置をジャンプするフォーカスサーボを実行することを特徴とする請求項 1 記載の情報再生装置。

【請求項 3】

0.8 以上の開口数を有しかつ光ビームの集光スポットを生ぜしめる対物レンズと、当該集光スポットに含まれる波面収差量を可変させる波面収差補正手段とを更に備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の情報再生装置。

【請求項 4】

前記対物レンズは、前記光学距離に集光スポットを結んだときに前記光ビームの波面収差量を最小とするレンズ群からなることを特徴とする請求項 3 記載の情報再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】情報再生装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、このような状況に鑑みてなされたもので、0.8以上の大きな開口数を有する対物レンズを用いて情報の記録再生を行う場合においても素早いデータ再生を可能にする多層情報記録媒体と互換性を有する単層情報記録媒体のいずれの情報も再生可能な情報再生装置を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1記載の情報再生装置は、単数の記録層を有する単層情報記録媒体、及び、複数の記録層を有し、かつ前記単層情報記録媒体の記録層と当該複数の記録層のうち光入射側から最も遠い位置にある記録層との光入射側表面からの光学距離が等しい多層情報記録媒体のいずれの情報も再生可能な情報再生装置であって、前記単層情報記録媒体又は前記多層情報記録媒体を装填する装填手段と、前記装填手段により前記多層情報記録媒体が装填された場合、前記光入射側から最も遠い位置にある記録層の光学距離に対して初期フォーカスサーボを実行するフォーカスサーボ手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】